

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル
☎ 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。
※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●関西支店 TEL (06) 7167-3644
●東京支店 TEL (03) 5753-7703	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6374-5687	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

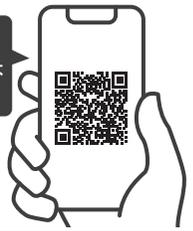
電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99748901 210 G

HIKOKI

取扱説明書

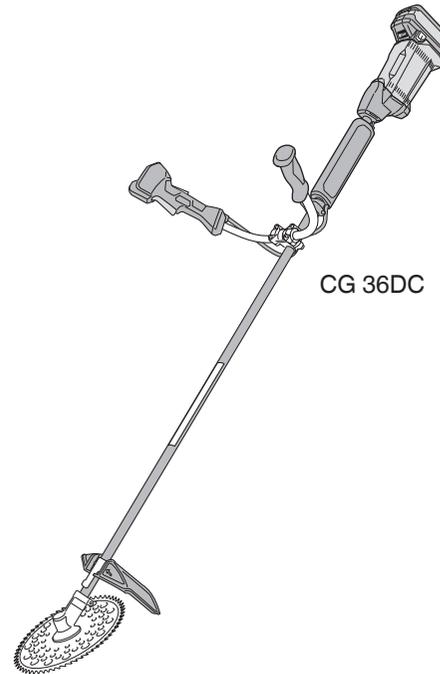
お得な情報や
ユーザー登録は
コチラから!



コードレス刈払機

36 V CG 36DC
36 V CG 36DC (D)
36 V CG 36DC (L)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



CG 36DC

はじめに

警告表示について	1
シンボルマークについて	1
コードレス工具の安全上のご注意	2
本製品の使用上のご注意	6
リチウムイオン電池の使用上のご注意	10
各部の名称	11
用途	12
仕様	12
標準付属品	13
別売部品	14

使い方

蓄電池の取付け・取りはずし	15
ご使用前の準備	16
各種操作方法について	25
キックバックについて	27
保護機能について	28
草を刈る	29

その他

保守・点検・運搬	35
故障診断	37
ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、使用時の危険回避などを目的に本機および取扱説明書に下記の表示をしております。
これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。

警告、注意、注の意味について

警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注：製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	取扱説明書をよく読んで内容を十分理解し、誤った使用で不慮の事故を起こさないように注意してください。		切削物の飛散方向に注意してください。
	保護帽（ヘルメット）、保護メガネ、手袋、安全靴など保護具を着用してください。		キックバックに注意してください。
	飛散防護カバーを所定の位置に取付けてください。		運搬時、保管時は刈刃カバーを取付けてください。
	刈刃を遠ざけるように両手で持って、運搬してください。		回転中の刈刃には、絶対に触れないでください。
	電源ボタン		モード切替スイッチと表示ランプ
	警告ランプ		

シンボルマーク	意味
	刈払機の作業員から 15 m 以内を危険区域とし、この中に作業員以外の人が入らないこと。また、数台同時に作業するときも、この距離は守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ③ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ④ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑤ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑥ 不意な始動は避けてください。
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑦ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠注意

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 子供を近づけないでください。
 - 作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - コードレス工具を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。
常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ 調整キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
スイッチを入れる前に、調整に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ⑫ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業を含む）で使用しないでください。
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス刈払機について、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠️ 注意

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受けできません。

⚠️ 警告

① 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

保護具をつけないで作業すると、飛散物が体に当たるなどけがの原因になります。

② 作業はゆとりを持って行ってください。また、体を冷やさないようにしてください。

③ 子供や取扱説明書をよく読んでいない人、または取扱いに不慣れな人には工具を使用させたり、貸したりしないでください。

はじめて使用する人は、販売店や熟練者に操作方法、注意事項をよく教わって十分習得し、取扱説明書をよく読んでから使用してください。

④ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。

⑤ 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨の中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。

足元が不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。

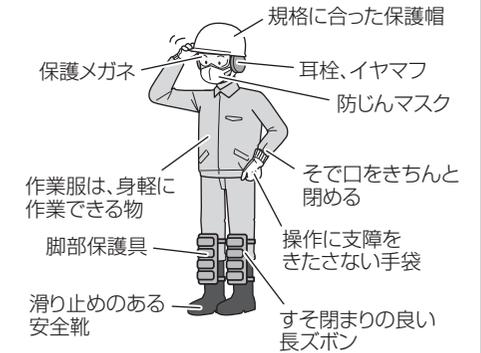
⑥ 始動前に刈刃を点検してください。

- 刈刃にヒビ・割れ・変形がある物は使用しないでください。
- 刈刃が確実に取付けられているか確認してください。刈刃が割れたり、はずれたりすると事故の原因になります。

⑦ 飛散防護カバー、肩掛けバンドを取付けて作業してください。

⑧ ハンドルを取付けて作業してください。また、ガタつきがなく確実に取付けられていることを確認してください。作業中は、ハンドルをしっかり握り、腕力で振り回したりせず正しい姿勢でバランスを取ってください。また、刈刃は右から左に掃くように作業してください。

作業中にバランスを失い、けがをする恐れがあります。



⚠ 警告

- ⑨ モーターを始動する場合は注意してください。
- 15 m 以内に人や動物を近づけないでください。
 - 刈刃が地面や草木などに触れていないことを確認してください。
不意な始動は、けがの原因になります。
- ⑩ ロックレバーを固定しないでください。
- 誤ってレバーを引いたとき、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- ⑪ 機体からはなれるときは、電源ボタンを押して、電源 OFF にしてください。
- ⑫ 電線、ガス管などが設置してある場所では安全に十分注意してください。
- ⑬ 空き缶、針金、石などの有無を確認し、ある場合は取り除いてから作業してください。また、木の根や岩のある所での作業はしないでください。
刈刃の損傷や、けがの原因になります。
- ⑭ 回転速度をむやみに上げないでください。
- 作業の負荷に応じて、回転を調整しながら使ってください。
飛散物が飛び散るなど、思わぬ事故の原因になります。
- ⑮ 回転中の刈刃には、絶対に触れないでください。
- 髪の毛や衣服なども触れないように注意してください。
- ⑯ 次の場合はレバーをはなし、電源を OFF にして、刈刃の動きが止まるのを確認してください。
- 作業場所を移動する場合。
 - 作業場所の障害物を取り除いたり、作業で発生したごみ、草、切り粉などを運ぶ場合。
 - 機体を体からはずす場合。
刈刃が動いたままでは、思わぬ事故が起こります。
- ⑰ 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。
- また、二人以上で作業する場合も、15 m 以上はなれてください。
- 飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
 - 傾斜地などの足場が悪い場所での作業では、他の作業者に危険がないことを確認してから作業してください。
 - 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。
- ⑱ 刈刃部に草などが巻き付いたときは、すぐにレバーをはなし、電源を OFF にして、蓄電池を工具本体から取りはずし、取り除いてください。
- 刈刃が停止していない状態で取り除こうとすると、けがの原因になります。
 - 草などが巻き付いた状態で無理に作業を続けると、故障の原因になります。

⚠ 警告

- ⑲ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにレバーをはなし、電源を OFF にして、蓄電池を工具本体から取りはずし、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑳ 誤って機体を落としたり、衝撃が加わったり、破損や亀裂、変形が生じた場合は、使用しないでください。
- ㉑ 運搬や移動時は両手でメインパイプを持ち、刈刃を体から遠ざけるようにして運んでください。
- ㉒ 刈刃カバーを付属の工具袋に必要なときにすぐ使えるように入れ、常に機体の側に置いてください。
- ㉓ 機体の運搬・保管する場合は、蓄電池を取りはずして、刈刃をはずすか、刈刃カバーを被せてください。
- ㉔ 作業時以外は肩掛けバンドを機体からはずしてください。
- ㉕ 機体を車で運搬する場合は、機体が動かないように固定してください。
- ㉖ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ㉗ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

⚠️ 注意

- ① 刈払い作業以外に刈刃を動かしたり、刈刃が水たまりなどの水に触れるような作業、土に刈刃が入り込むような作業はしないでください。
- ② 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらしたりしないでください。
- ③ 機体を立てて置かないでください。
不意に倒れ、思わぬけがや故障の原因になります。
- ④ 刈刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
不用意に扱うと、けがの原因になります。
- ⑤ 殺虫剤などの薬品が機体に付いたままにしないでください。
破損や亀裂が生じる恐れがあります。
- ⑥ 警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告ラベルと取り替えてください。
警告ラベルはお買い求めの販売店に依頼してください。
- ⑦ 作業に当たって、その地域の規則や取り決めがある場合はそれに従ってください。
- ⑧ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑨ 蓄電池は確実に取付けてください。

○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

⚠️ 警告マークについて

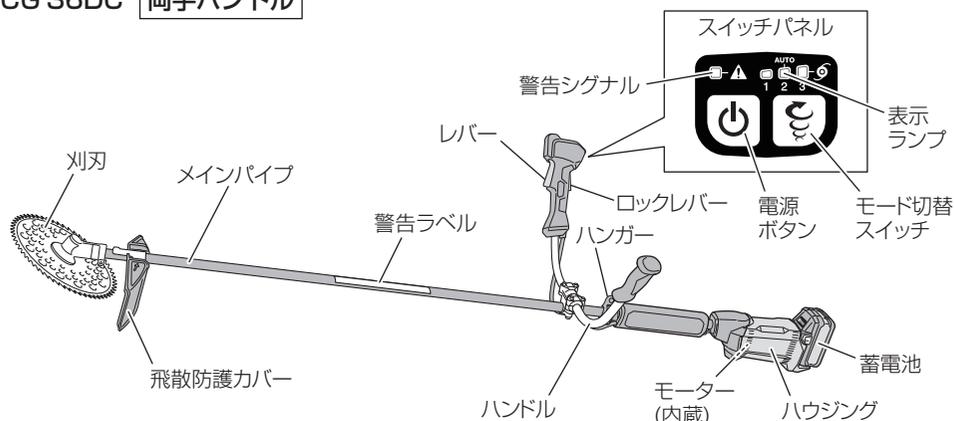


このマークのある操作・手順では、必ず電源を OFF にして、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

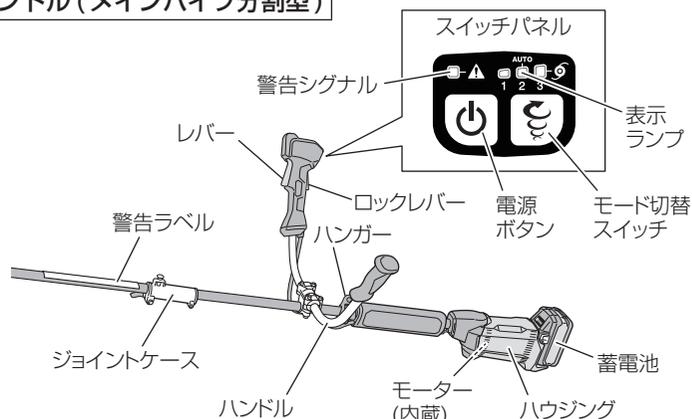
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や保守・点検、刈刃の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

各部の名称

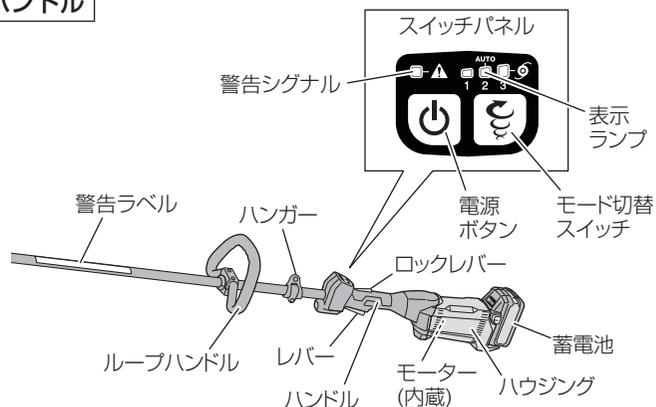
CG 36DC 両手ハンドル



CG 36DC(D) 両手ハンドル(メインパイプ分割型)



CG 36DC(L) ループハンドル



用途

- 一般の草刈り、雑草刈り

仕様

形名	CG 36DC	CG 36DC(D)	CG 36DC(L)
操作ハンドル	両手ハンドル	両手ハンドル (メインパイプ分割型)	ループハンドル
刈刃	チップソー (外形 255 mm × 内径 25.4 mm × 刃数 40)		
刈刃回転方向	上から見て反時計方向		
刈刃回転数	エ コ : 3,000 min ⁻¹ オート : 4,700 min ⁻¹ パワー : 6,000 min ⁻¹		
工具本体寸法* ¹ 全長 × 全幅 × 全高	1,840 × 650 × 415 mm		1,840 × 246 × 193 mm
質量* ¹	4.7 kg	5.0 kg	4.5 kg
連続運転時間* ² [BSL 36B18X使用 無負荷時]	エ コ : 115分 オート : 50分 パワー : 27分		
モーター	直流ブラシレスモーター		
電池電圧	36 V		
使用可能蓄電池* ³	マルチボルトタイプ蓄電池、背負式電源 BL 36200		
ランプ	警告ランプ : 赤色 LED、電源 / 表示ランプ : 緑色 LED		

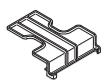
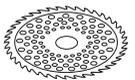
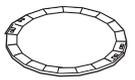
※1 : 蓄電池 BSL 36B18X 装着時。刈刃、飛散防護カバー、肩掛けバンドは含まない。

※2 : 使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。

※3 : AC / DC アダプタ (ET 36A)、バッテリーアダプタ (W36-AD) は使用できません。

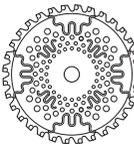
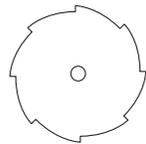
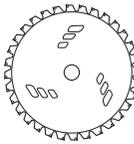
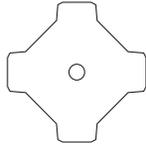
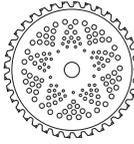
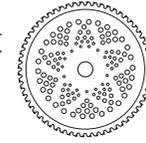
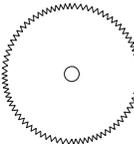
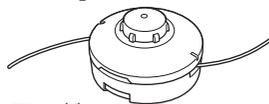
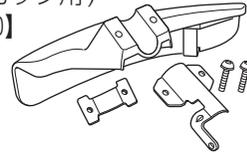
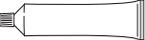
標準付属品

下記の部品が標準付属品として同梱されていますので確認してください。

品名	形名仕様	CG 36DC		CG 36DC(D)		CG 36DC(L)	
		WPZ	NN	WPZ	NN	WPZ	NN
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書を確認してください。		1個	—	1個	—	1個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。		1台	—	1台	—	1台	—
電池カバー 		1個	—	1個	—	1個	—
チップソー (外形 255 mm) 		1枚					
刈刃カバー 		1式					
六角棒スパナ 		1個					
ボックススパナ (17 × 19 mm) 		1個					
保護メガネ 		1個					
肩掛けバンド (離脱ベルト式) 		1個					
工具袋 		1枚					

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

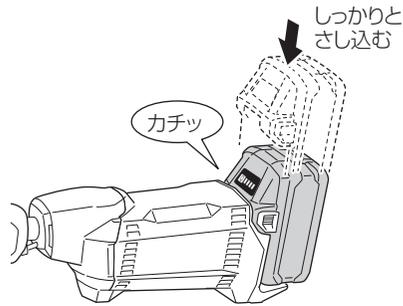
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

スーパーチップソータイプ (レーザースリット+ 軟質特殊樹脂仕様) 外径 255 mm × 刃数 36 枚 	巴刃 外径 255 mm × 刃数 4 枚 外径 255 mm × 刃数 8 枚 外径 255 mm × 刃数 16 枚 
チップソー標準タイプ (窓有仕様) 外径 255 mm × 刃数 36 枚 	角形4枚刃 外径 255 mm × 刃数 4 枚 
チップソー軽量タイプ (メッシュ仕様) 外径 255 mm × 刃数 40 枚 	下刈用チップソー軽量タイプ (メッシュ仕様) 外径 255 mm × 刃数 60 枚 
丸のこ刃 外径 255 mm × 刃数 80 枚 外径 255 mm × 刃数 30 枚 	ナイロンコードカッタ (M10) 打撃タイプ (コード径 φ2.0 × 4m) 外径 110 mm 【コード No. 0033-6327】 
すね当て (1組 2個入り) 飛散物から 足を守ります。 	●交換用ナイロンコード (コード径 φ2.4 × 6m) 【コード No. 0067-6747】 (コード径 φ2.7 × 15m) 【コード No. 0069-8260】 飛散防護カバー組 (ナイロンコードカッタ用) 【コード No. 380000】 
グリース (チューブ入り 100 g) 使用 50 時間に 1 度程度 ギヤケースに補充します。 	注 ナイロンコードカッタは飛散防護カバーとセットで使用してください。

蓄電池の取付け・取りはずし

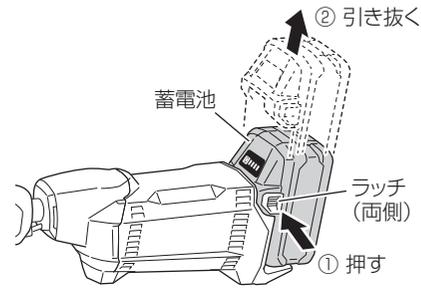
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、しっかりとさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



ご使用前の準備

本製品をお買い求め後、はじめてご使用になるとき、分解して保管していたとき、刈刃を交換するときは、次のように組み立ててください。



この作業時は必ず電源を OFF にして、蓄電池を取りはずしてください。

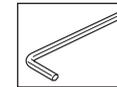
⚠ 注意

刈刃の取付け・取りはずしの際には、手袋および刈刃カバーを付け、手や顔などに直接、刈刃が触れないようにしてください。

● 両手ハンドルの取付け【CG 36DC / CG 36DC (D)】

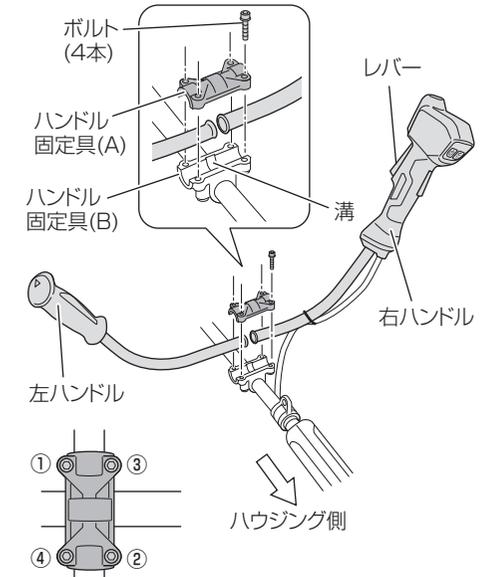


注 取付けには付属の六角棒スパナを使用します。



- ① ハンドル固定具 (A) に仮止めしてあるボルト (4本) をはずします。
- ② 右側にレバーが付いている右ハンドルを、左側に左ハンドルを取付け、ハンドル固定具 (A) をボルト (4本) で確実に固定します。
このとき、左右ハンドルの端部がハンドル固定具 (B) 中央の溝に入る位置で取付けてください。

ハンドルを確実に取付けるために、ボルトの締付けは右図「①→②→③→④」の順に少しずつ締付けてください。

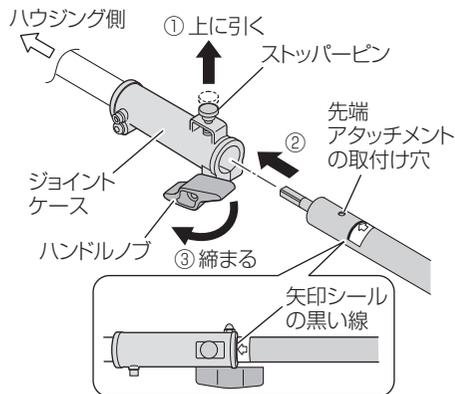


●先端アタッチメントの取付け・取りはずし【CG 36DC (D)】



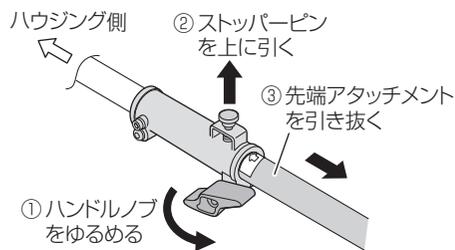
取付けるとき

- ① ジョイントケースのストッパーピンを上につまみます。
- ② 先端アタッチメントを、矢印シールの黒い線までさし込みます。ストッパーピンが、先端アタッチメントの取付け穴に入ったことを確認します。
- ③ ハンドルノブを締めて固定します。



取りはずすとき

- ① ハンドルノブをゆるめます。
- ② ジョイントケースのストッパーピンを上につまみます。
- ③ 先端アタッチメントを引き抜いてください。



注 ハンドルノブをゆるめすぎると、破損する恐れがあります。

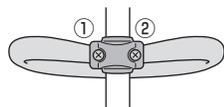
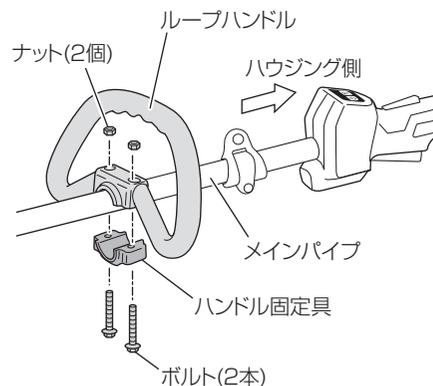
●ループハンドルの取付け【CG 36DC (L)】



注 ・ループハンドルは、使いやすい位置を決めて固定してください。
・取付けには、付属のボックススパナを使用します。



- ① ループハンドルに仮止めしてあるボルト(2本)をはずします。
- ② メインパイプ上側に、ループハンドルがハウジング側に傾くようセットします。
- ③ メインパイプ下側にハンドル固定具を当て、ボルト(2本)とナット(2個)を使用し固定します。



ハンドルを確実に取付けるために、ボルトの締付けは右図①、②を交互に少しずつ締付けてください。

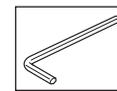
●飛散防護カバーの取付け



警告

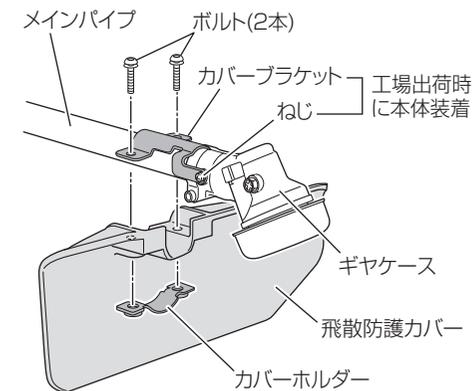
- 飛散防護カバーは所定の位置に確実に取付けてください。小石等が飛散した場合、けがの原因になります。
- ナイロンコードカッターを使用する場合は、別売の専用飛散防護カバーを取付けてください。
- 飛散防護カバーに損傷や変形などの異常がないことを、確認してから使用してください。

注 取付けには付属の六角棒スパナを使用します。

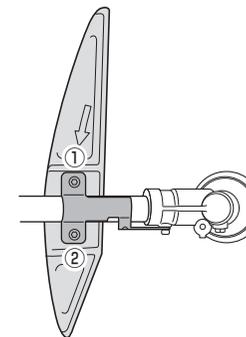


カバーブラケットは、工場出荷時に本体に装着されています。

そのカバーブラケットに、付属のボルト(2本)とカバーホルダーで飛散防護カバーをメインパイプに固定します。



ボルトの締付けは右図①、②を交互に少しずつ締付けてください。



● 刈刃の取付け

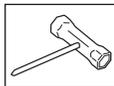
⚠ 警告

- 取付ける前に、刈刃にヒビ・割れ・変形などが無いことを確認してください。
- 交換用刈刃および刈刃取付け工具類は、純正品を使用してください。
- 刈刃交換は、刃物取付け金具類(ナットカバー、刃押さえ金具、取付ナット)の表面に付いたごみを十分に取り除いた後に行ってください。汚れが付いたまま取付けると、取付ナットがゆるむ原因となり、非常に危険です。
- 刈刃取付け後は、ボックススパナを取りはずしてください。
- 左M10取付ナット、ナットカバーが摩耗している場合は新品と交換してください。

⚠ 注意

刈刃を取付ける際には、刈刃カバーを取付け、厚手の手袋を着用するなど、十分に注意して作業してください。

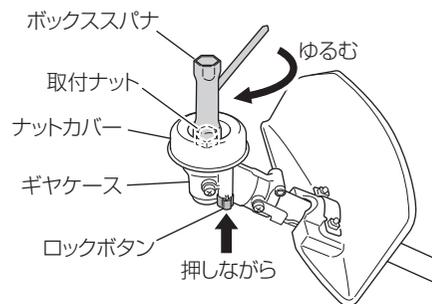
注 取付けには付属のボックススパナを使用します。



① 機体を右図のように逆さにします。このとき機体側の各部が破損しないように注意してください。

② ギヤケースのロックボタンを押して、付属のボックススパナで取付ナットを回すと、ロックボタンが少し奥に入り回転が止まります。

そのまま、ボックススパナで取付ナット、ナットカバー、刃押さえ金具をはずしてください。



注 刃受け金具は、付属の刃受け金具を使用してください。

③ 刈刃の取付けは、刃受け金具に刈刃(刃の向きを確認して)、刃押さえ金具、ナットカバーの順序で組み付けます。

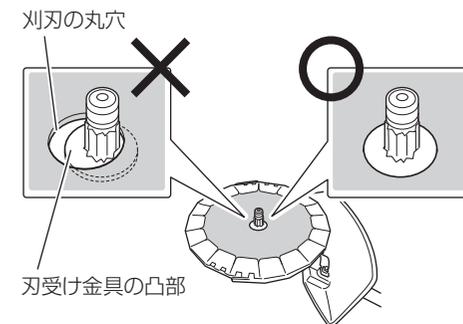
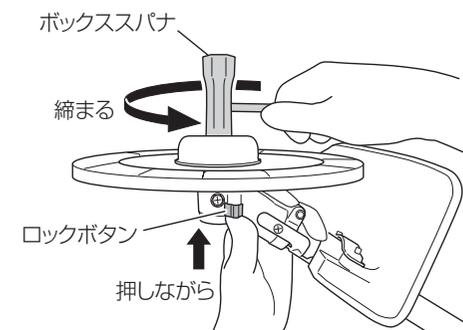
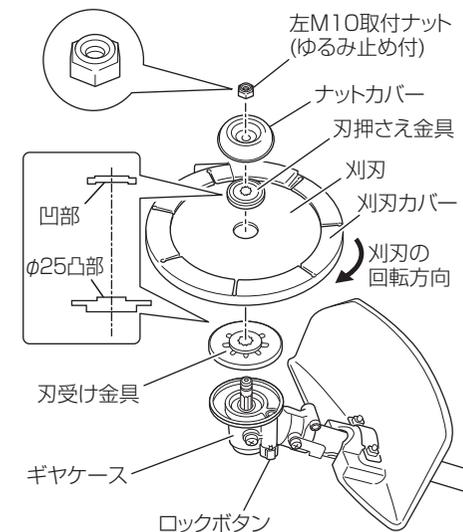
刃受け金具の凸部に、刈刃の丸穴がきちんと入った状態で取付けてください。

④ 取付ナットの丸みのある面をボックススパナ側にして取付けます。

⑤ ロックボタンを押し込み、回り止めしてボックススパナで確実に締付けてください。

⑥ 取付ナットを締付けているときに、刃受け金具のφ25mm凸部と、刈刃の丸穴がズれることがありますので注意してください。

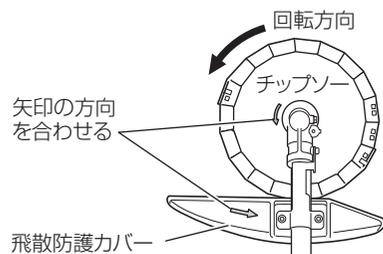
使用する前に、刈刃が確実に固定されているか確認してください。(P.21「正しく取付けられているか確認のポイント」参照)



正しく取付けられているか確認のポイント

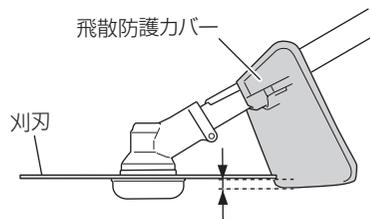
刈刃と飛散防護カバーの矢印の方向が合っている

逆に取付けた場合は、逆の手順で刈刃を取りはずして、取付け直してください。



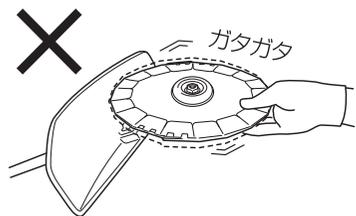
飛散防護カバーの下面より刈刃が出ていない

出ている場合は、飛散防護カバーを取付け直してください。
(P.18「飛散防護カバーの取付け」参照)



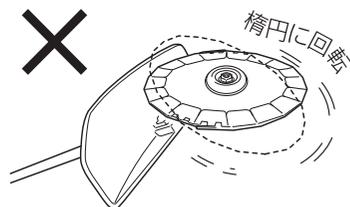
取付け後、刈刃にガタつきがない

ガタつきがある場合は、取付ナットの締付けが足りない可能性があります。一度取付ナットを取りはずして、再度しっかりと締付けてください。



軽く手で回したとき、刈刃が楕円に回転しない

楕円に回転するときは、刈刃の丸穴が刃受け金具の凸部に合っていない可能性があります。一度取付ナットを取りはずして、取付けを確認してから、しっかりと締付けてください。



●肩掛けバンドの取付けと使い方

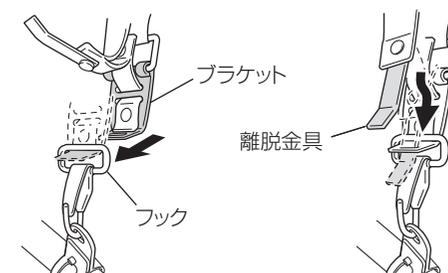
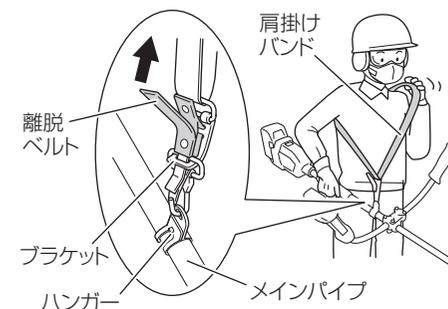
⚠警告

- 作業時は肩掛けバンドを着用し、機体を正しく保持してください。
- 危険を感じたときは直ちにモーターを停止し、肩掛けバンドの離脱ベルトを引いて、刈払機を体からはなしてください。

⚠注意

- 離脱時は他方の手で機体のメインパイプを持ちながら、離脱ベルトを引いてください。
機体を支えないで離脱ベルトを引くと、機体が足の上に落ち危険です。
- 肩掛けバンド装着前に、肩掛けバンドに切れ・ほつれ・損傷等がないことを確認し、正しく使用してください。
- 肩掛けバンド装着前に、フックやハンガーに変形・損傷がないことを確認してください。
損傷がある場合は、新品と交換してください。
- 肩掛けバンド装着後に機体を押し下げ、フックが容易にはずれたり、肩掛けバンドがゆるんだりしないことを確認のうえ使用してください。
- 作業前に離脱機能に異常がないことを確かめてください。

- ① 肩掛けバンドは右図のように肩に掛け、ハンガーに引っ掛けます。
- ② 肩掛けバンドは使いやすい長さに調節してください。
- ③ 肩掛けバンドから機体をはずすときは、片手でメインパイプを持ちながら、離脱ベルトを右図のように上に引き、ブラケットからはずします。
- ④ 結合するときは、フックにブラケットをさし込み、離脱金具をフックの上からブラケットの長穴にさし込みます。
- ⑤ 軽く肩掛けバンドを引いて、確実に取付けられていることを確認してください。



● ナイロンコードカッタ (別売部品) の取付け

警告

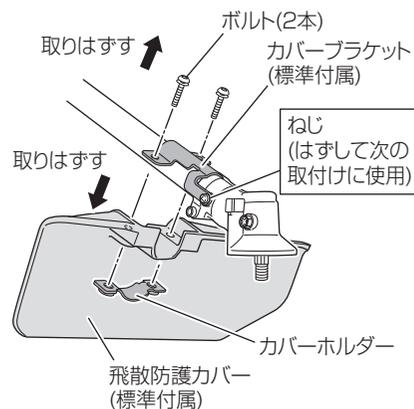
付属の飛散防護カバーは刈刃専用です。ナイロンコードカッタ使用時には、ナイロンコードカッタ専用飛散防護カバー (別売部品) を取付けのうえ、セットで使用してください。小石などが飛散した場合、けがの原因になります。

注意

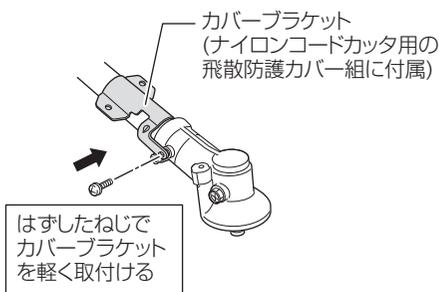
- 厚手の手袋を着用して作業してください。飛散防護カバーのカッターで、指をけがする恐れがあります。
- ナイロンコードを 17cm 以上で使用しないでください。機体が故障する恐れがあります。

標準付属の飛散防護カバーの取りはずし

- ① P.19「刈刃の取付け」①～③の要領で左M10取付ナット、ナットカバー、刃押さえ金具、刃受け金具、刈刃を取りはずしてください。
- ② 付属の飛散防護カバーを取りはずしてください。
- ③ ボックススパナでねじ (ギヤケースに付属) を一度取りはずします。
- ④ はずしたねじで、カバーブラケットを軽く取付けておきます。刃受け金具はナイロンコードカッタの取付けで使用します。

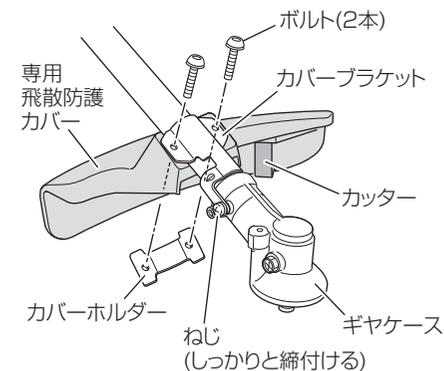


注 使用しない刈刃、飛散防護カバーとそれらに付属する部品は紛失しないように保管してください。



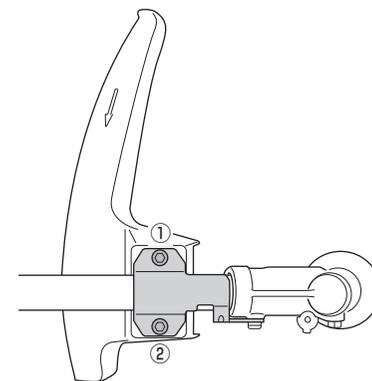
ナイロンコードカッタと専用飛散防護カバーの取付け

- ① 飛散防護カバーをカバーブラケット、カバーホルダー、ボルト (2本) でメインパイプに固定します。



ボルトの締付けは右図①、②を交互に少しずつ締付けてください。

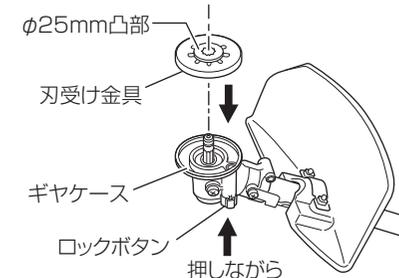
- ② 前ページの取りはずし④で仮締めしたねじ (ギヤケースに付属) を、しっかりと締付けてください。



- ③ 飛散防護カバーを取付けた後、刃受け金具のφ25mm凸部をナイロンコードカッタ側にしてギヤケースにさし込みます。



- ④ ロックボタンを押しながら、ナイロンコードカッタを手でねじ込んでください。



注 再度、刈刃を使用する際は、付属の飛散防護カバーを取付けてください。

各種操作方法について

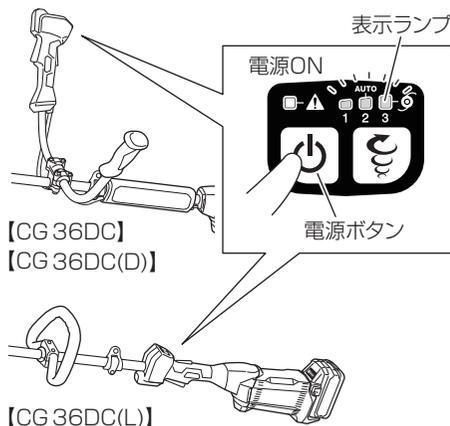
●電源ボタンについて

本製品は、電源ボタンを押してONにすると表示ランプが緑色に点灯します。この状態でレバーを引けば刈刃が回転します。

再度電源ボタンを押すと電源OFFになり、電源ランプが消灯します。

電源ONで、レバーが引かれないうちが1分間経過しますと、自動的に電源OFFになります。電源をONにするためには、再度電源ボタンを押してください。

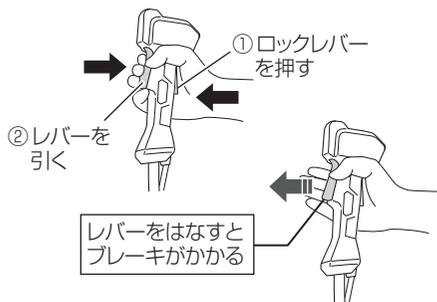
レバーを引いた状態では、電源ボタンを押してもONになりません。



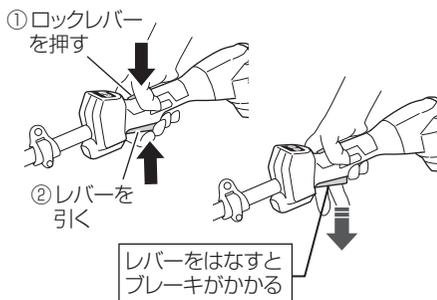
●レバー操作とブレーキについて

電源ONの状態では、ロックレバーを押しながらレバーを引くと、刈刃が回ります。レバーをはなすと、1～3秒後に刈刃の回転にブレーキがかかります。使用する前に、ブレーキがかかることを確認してください。

【CG 36DC / CG 36DC(D)】



【CG 36DC(L)】



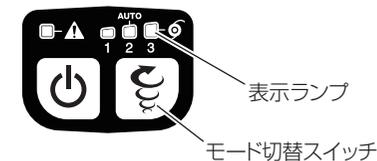
●モード切替機能について

モード切替スイッチを押すごとに、作業モードが替わり、表示ランプが点灯します。オートモードは、負荷が小さいときの刈刃回転数を低くすることで、効率の良い作業ができます。

オートモードでは、負荷が大きくなると自動的に回転数を上げます。負荷が小さくなると自動的に回転数が戻ります。

エコ/パワーモードでは、負荷が変化しても回転数は自動的に替わりません。

- 注**
- ナイロンコードカッタで作業するときは、パワーモードを選択してください。
 - オートモードで作業すると、負荷が軽減しても回転数は戻りません。
 - スイッチの入/切、蓄電池の抜き/さしをしても、設定したモードは維持されます。

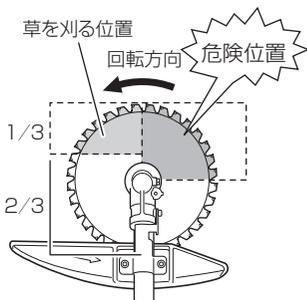


モード	エコ	オート	パワー
使用先端工具	刈刃 	刈刃 	刈刃 ナイロンコードカッタ
表示ランプの点灯状態			
刈刃回転数	3,000 min ⁻¹ {回/分}	無負荷時回転数: 4,700 min ⁻¹ {回/分} 負荷時回転数: 6,500 min ⁻¹ {回/分}	6,000 min ⁻¹ {回/分}
連続運転時間*	115分	50分	27分

* BSL 36B18X 使用、無負荷時

キックバックについて

チップソーなど金属製の刈刃を使用中に、刈刃の先端から右側部分が樹木などの障害物やかたい地面に接触すると、刈刃の回転で障害物を駆け上がる力が働き、作業者の右側に向かって跳ね返すキックバックが発生します。



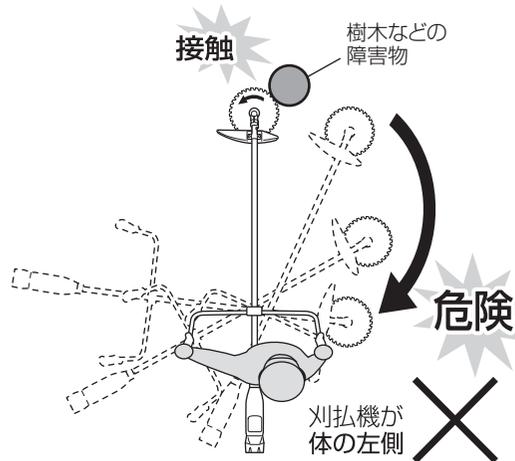
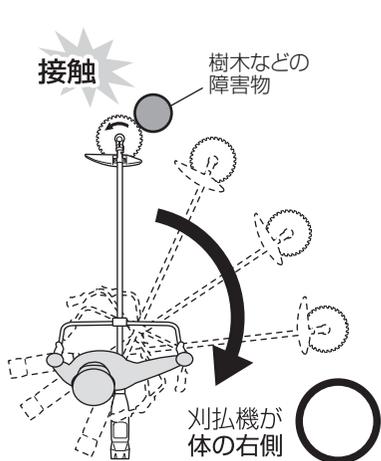
雑草などで隠れている切り株や石などに刈刃が接触して、キックバックを起こすことがあります。

雑草の中にそのような障害物がないか、よく確認してから作業してください。



万一キックバックが発生しても、危険性を最小限にするため、刈払機を体の右側にして作業してください。

作業者を中心にして、刈刃部が回転するため、体に直接接触する危険性が少なくなります。



保護機能について

本機は機体の制御を行っている電子部品を保護するため、保護機能が搭載されています。刈払い作業中に過負荷(刈刃のロックや草巻付き等)になると、保護機能が作動し電源ランプが点滅して作動を停止します。点滅状況を確認して対処してください。

下記の対処で再び使用できますが、刈込量を少なくするなど過負荷にならないように作業を調整してください。また、刈刃部に巻き付いた草を取り除く場合などは、電源をOFFにして、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

チップソーの状態が悪い場合にも、保護機能が働くことがあります。その場合にはチップソーを交換し、使用してください。

警告シグナル



電源ランプ点滅状態	原因	対処方法
0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 ■ ■ ■ ■ (遅い点滅)	内部温度が高温となり規定値を超えたため、作動を停止した。 (モーターが停止し、1分後自動的に電源OFF) [温度保護機能]	電源をOFFにして、機体を十分に冷ましてください。 温度が下がれば再び使用できます。
0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ (速い点滅)	先端工具の負荷が規定値を超えたため作動を停止した。 (モーターが停止し、10秒間点滅) [過負荷保護機能]	電源をOFFにして、蓄電池を工具本体から取りはずし、過負荷の原因を取り除いてください。 原因を取り除けば再び使用できます。

注 対処方法を行っても電源ランプが点滅し続ける場合は、機体の故障が考えられます。お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

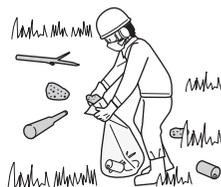
草を刈る

警告

- 刈刃カバーを取付けたまま、レバーを引かないでください。
- 常に足元をしっかりとさせ、スリップなどで体のバランスを失わないように十分注意して使用してください。
- 急傾斜地では使わないでください。
あまり急でない急傾斜地で使用する場合は、等高線方向に刈り進んでください。
- 刈刃が足元に近づくような機体操作はしないでください。
- 作業中刈刃をひざより高く持ち上げないでください。
- 刈刃が石、木の株、その他の障害物に当たる恐れのある場所では使わないでください。
- 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。
- 電源 ON にしたまま本機を放置しないでください。

1 作業場所を整備する

- 刈刃が石や空き缶などの障害物に接触すると、思い掛けない方向に飛ばされることがあります。
- 取り除くことのできない物は、あらかじめ目印を付けてください。



2 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、しっかりとさし込んでください。



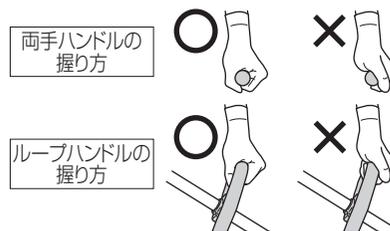
3 刈払機を保持する

- 肩掛けバンドを右手と頭に通して、左肩にかけます。(P.22「肩掛けバンドの取付けと使い方」参照)

注 本機は、刈払機を体の右側で操作する構造となっております。刈払機を体の左側で使用しないでください。

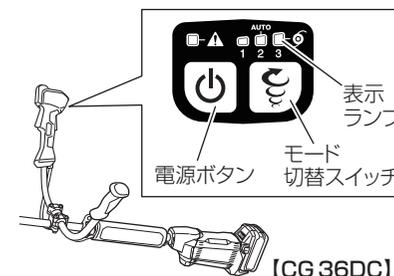


- ハンドルに親指を掛け、他の指とともにハンドルを囲むように握ってください。



4 電源をONにしてモードを選択する

- 電源ボタンを押すと電源 ON になり、表示ランプが緑色に点灯します。(P.25「電源ボタンについて」参照)
- 用途に応じてモードを選択してください。(P.26「モード切替機能について」参照)

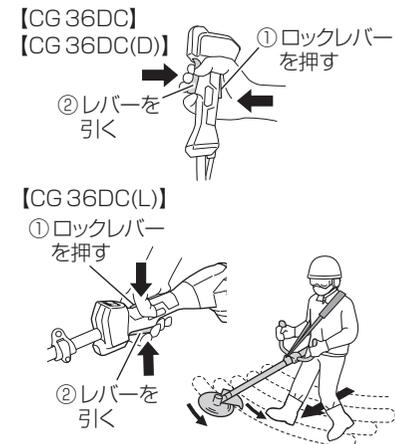


注 ナイロンコードカッタは、パワーモードで作業してください。

5 草を刈る

- 右手でハンドルを握り、ロックレバーを押してレバーを引くと刈刃が回転します。
- メインパイプを振り回さず、腰の移動で刈刃を水平に右から左に弧を描くように振りながら前進し、刈刃の左側で刈込んでください。(P.31「刈払いのコツ」参照)
- 刈払い作業をしないときはレバーをはなし、電源を OFF にしてください。

注 モーターがロックしたり、回転が落ちるような使い方は、故障の原因になります。



●刈払いのコツ

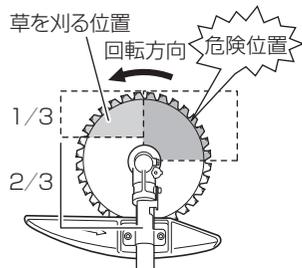
刈刃がナイロンコードカッタかにより、ご使用方法のコツ・注意点に違いがあります。それぞれのコツ・注意に従い、正しく安全にご使用ください。

刈刃をご使用の場合



⚠ 警告

- 刈刃をご使用時には、刈刃の跳ね返り（キックバック）に注意してください。特に刈刃の右側を障害物に当てると、自分の方に刈刃が勢い良く跳ね返されますので注意してください。
- 石や壁など、かたいものに衝突させてしまった場合は、すぐにレバーから手をはなし電源を OFF にし、蓄電池を工具本体から取りはずして刈刃を点検し、損傷のある場合は交換してください。



ナイロンコードカッタをご使用の場合



⚠ 警告

- ナイロンコードカッタは刈刃より抵抗が大きいため、取扱い操作を誤ると、モーターに負荷がかかりすぎて故障します。ナイロンコードの長さが 15～17 cm になるように使用してください。また、作業時は回転数を高速に保ってください。
- 飛散防護カバーとナイロンコードカッタの間に木の枝が入ってしまったときは、直ちにレバーから手をはなし電源を OFF にし、蓄電池を工具本体から取りはずした後、取り除いてください。
- ナイロンコードカッタ専用飛散防護カバー（別売）を取付けて使用してください。

刈刃をご使用の場合（続き）

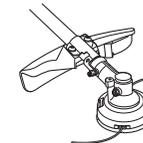


回転速度は草の抵抗に合わせて

あぜ草など柔らかい草は、エコまたはオートモードで十分ですが、密生したヨモギやつる草などはパワーモードで刈るようにしてください。

回転速度が低すぎると、力がなく草もからみやすくなります。回転速度が高すぎると、刈刃摩耗が早くなる、振動や騒音が大きくなるなどの原因になります。また、回転速度をむやみに上げると、電池の消耗を早めます。

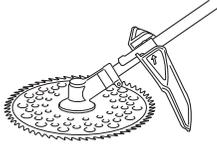
ナイロンコードカッタをご使用の場合（続き）



回転速度は高速で

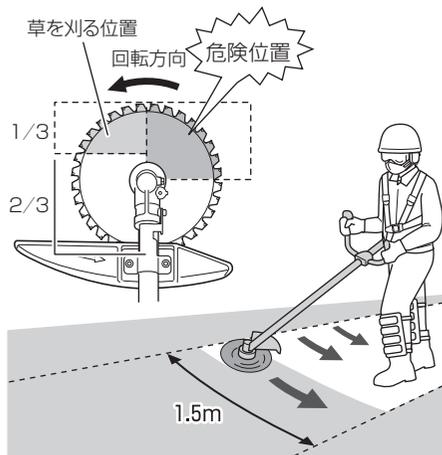
回転速度が低すぎると草が巻き付きやすくなります。作業時は、パワーモードで使用してください。

刈刃をご使用の場合（続き）



右から左に振るよう作業

- メインパイプを振り回さず、腰の移動で刈刃を水平に右から左に弧を描くように振りながら前進し、刈刃の左側で刈込んでください。刈幅は 1.5 m くらいが適切です。
- 下図に示す刈刃直径の 1/3 の部分で刈ると、切れ味が良く、また草の巻き込みも少なく効率的に作業できます。
- 刈刃の左側を少し下げのように傾け作業すると、刈った草が左側にまとまり、刈った草の収集がしやすくなります。

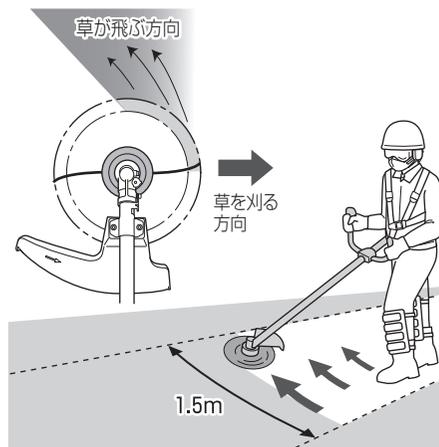


ナイロンコードカッタをご使用の場合（続き）



左から右に振るよう作業

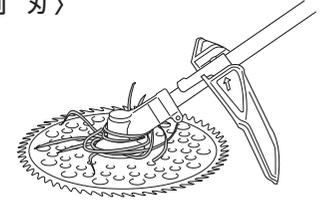
- ナイロンコードカッタを左から右に振りながら刈ると、切りくずが体から遠ざかる方向に飛びますので、服の汚れが少なくなります。刈幅は 1.5 m くらいが適切です。
- ナイロンコードカッタは、コードの先端部で草を刈ります。コード長さ分一度に刈ろうとすると、回転速度が落ち、切りにくくなります。いったん、草からナイロンコードカッタをはなし、回転速度を上げてから、刈込量を少なくして刈込みをしてください。



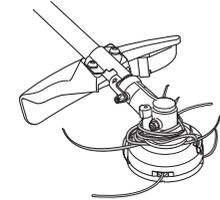
草が巻き付いたら

作業中に草などが巻き付いたときは、すぐにレバーから手をはなし電源を OFF にし、蓄電池を工具本体から取りはずして、先端工具の回転が停止してから取り除いてください。草などが巻き付いた状態で無理に作業を続けると、モーター故障の原因になります。

〈刈刃〉



〈ナイロンコードカッタ〉



保守・点検・運搬

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

● 清掃する

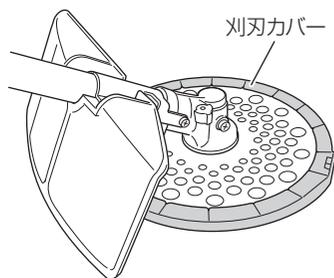
機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● モーターの取扱いについて

モーター(内蔵)(P.11「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

● 運搬・移動・保管方法

損傷箇所がある場合は修理してから保管してください。運搬や移動時は両手でメインパイプを持ち、刈刃を体から遠ざけるようにして運んでください。刈払機を運搬・移動・保管する場合は、安全のため、付属の刈刃カバーを取付けてください。

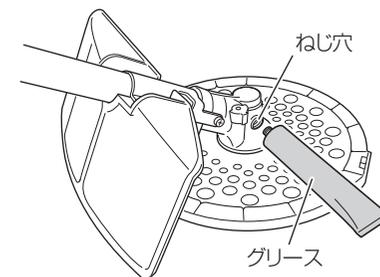


下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

● ギヤケース

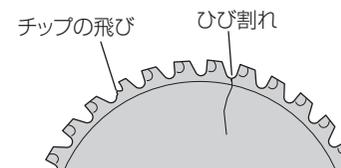
- 50時間使用ごとにグリース(別売部品)を補充してください。
- ギヤケースヘッド部の側面にあるねじをはずし、そのねじ穴からグリースを注入してください。



- 注**
- ねじを元の位置に取付ける際は、ごみや土をよく取り除いてください。
 - ギヤケースの点検・整備は、ギヤケースが冷えてから行ってください。

● 刈刃

- 注**
- 刈刃の着脱等の点検時は、手袋を着用してください。
 - 刃先が摩耗して丸くなった刈刃の使用は、切れ味が悪く、草が巻き付きやすくなったり、作業時に腕にかかる負担が増えます。また、運転時間や寿命にも悪影響を与えます。
 - ナットカバー・刃押さえ金具は消耗品です。摩耗が激しいときは、取り替えてください。加減が分からない場合は、販売店に問い合わせてください。
 - 刈刃を点検する前に、電源をOFFにして、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
 - 刈刃のチップの飛び、ひび割れ、欠け、曲がり、摩耗など異常がないか点検し、異常がある場合は新品と交換してください。
 - 刈刃交換は、必ず刃物を取付け金具(ナットカバー、刃押さえ金具、取付ナット)表面に付いたごみを十分に取り除いた後に行ってください。汚れが付いたまま取付けると、ナットがゆるんだり、モーターへの負荷が増え、モーターが壊れる原因となり、非常に危険です。ご自身で正しく締付けられないときは、販売店に相談してください。



故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

状況	原因	対策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池のさし込みが確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具体体の電池挿入口に異物が混入しているときは、取り除いてください。 蓄電池の端子部に汚れや水等が付着しているときは、綿棒などで汚れをふき取ってください。 蓄電池は「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。
	蓄電池が過熱状態になっている	蓄電池の使用を中断し、工具体体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。
	電源が ON になっていない	ハンドル部の電源ボタンを押し、電源を ON にしてください。 本機にはオートパワー OFF 機能が搭載されており、電源 ON でレバーが引かれない状態が 1 分間経過すると、自動的に電源 OFF となります。
	ロックレバーを押してレバーを引いていない	本機は、誤操作による事故を防ぐため、ロックレバーを押しながらレバーを引かないとモーターが回転しない構造となっています。 ハンドルを握り、ロックレバーを押してレバーを引いてください。
	大量の草を刈込んで、飛散防護カバーと刈刃に巻き付き、過負荷状態になっている	工具体体および蓄電池を保護するため、過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。 いったん電源 OFF し、蓄電池を取りはずし、過負荷の原因を取り除いてください。もう一度電源ボタンを押せば、再びご使用になれます。
動いてもすぐ止まる	蓄電池の残量が少ない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が過熱状態になっている	蓄電池の使用を中断し、工具体体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。
	過負荷状態で作業をしている	切込み量を少なくするなど、過負荷の原因を取り除いてください。

状況	原因	対策
振動が大きい	刈刃が正しく取付けられていない	刈刃を取付け直してください。
	刈刃にヒビ・割れ、変形などがある	刈刃を交換してください。
	ハンドルがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定してください。
	飛散防護カバーがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定してください。
	ジョイントケースがメインパイプにしっかりと固定されていない【CG 36DC (D)のみ】	確実に固定してください。
刈刃の切れ味が悪い	刃先が痛んでいる	刈刃を研ぎ出すか、交換してください。
	回転方向に対し、刈刃の取付け向きが逆になっている	正しい回転方向に刈刃を取付け直してください。
レバーをはなしても 1～3 秒の間にブレーキがかからない	故障と考えられる	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取付けようとした	蓄電池はマルチポルトタイプを使用してください。
刈刃が回らない	刃受金具が正しく取付けられていない	刃受金具を取付け直してください。
	刈刃がゆがんでいる	刈刃を交換してください。